

みんなのしあわせに繋ぐ

3年ぶり福祉教室で

社会

綾瀬市在住の金子寿さん（62）が、10月19日に綾瀬市立天台小学校（石井岳夫校長）で3年ぶりの福祉教室を行った。5年生の児童65人の前で車いす生活について語った。



子ども達に語りかける金子さん

金子さんは体操部に所属した高校2年生の時、鉄棒から落下し、首を骨折して車いす生活を余儀なくされた。

車いす生活の困難を伝えることで、「障害者やお年寄り、友達が困っていたら声をかけて助けてあげる心のバリアフリーを持ち、みんなのしあわせに繋げてほしい」と語った。

教室に参加した児童は「困っている人がいたら助けてあげたい」と話していた。